

昨年11月号以来、しもむーの連載復活！4コマ技術がスゴイ・・・



ゆざまち協力隊のつぶやき



吉田実

@DX推進支援。
スマホ道場3代目師範

5月からハーバーラジオで生放送のパーソナリティデビュー。火曜昼、水曜昼&夜の放送担当です。デビュー戦当日、私がラジオに関わる機会をくださった方々から素敵な花束をいただきました😊



渡辺力

@観光振興。
鳥海山・ジオパーク推進

遊佐町と鳥海山周辺の自然を楽しむ「鳥海山・飛島ジオパーク」。地域を再発見する教育プログラムとしても注目されていて、最近は授業をお手伝いすることも。難しい!!もっともっと勉強します。



下村俊太郎

@遊佐高
教育コーディネーター

久しぶりに4コマを描きました。昨年ぶりになったのは私が締め切りを守れなかったからです(泣)これから毎月書くためにも「いいな」と思ったら感想下さい。彼の名前は「金剛くん」です。



秦秀平

@DX次世代人材育成支援。
スマホ道場2代目師範

学童クラブで開催している「放課後デジタル教室」も2周目。毎回ゲームを制作していて、これがなかなか大変！でも、子どもたちの楽しそうな姿が励みです！次はどんなゲームを持って行こうかな。



早坂豊美

@情報発信。
水循環保全啓発

最近は野菜作りを始め、畝やマルチも準備。遊佐高生や友達に手伝ってもらしながらキュウリやトマト、オクラ、カボチャ、枝豆を植えた。次は何を植えようか、ワクワクして考えるのも楽しい!!



白井駿平

@情報発信。
水循環保全啓発

早坂隊員が野菜作りをする通称「TOMMY FARM」の「サブスクリーナー」第1号になり、畝づくりをお手伝い。普段お店の棚で見る野菜たちの裏側にはこうした地道な取り組みがあることを知りました。



水谷響

@遊佐高
暮らしのコーディネーター

東根さくらんぼマラソンに出場しました。タイム目標は達成できましたが、道中で出されていたさくらんぼを楽しむ余裕がなかったことが悔やまれます。走りながら食べるの、大分難易度高かったな。



久田直

@遊佐高
暮らしのコーディネーター

妻と一緒に枝豆やトウモロコシなどの種まきをしました。妻やお義父様に教えてもらしながら、植えた子たちが育つのが楽しみです。米作りをしたいので、日々沢山の田んぼを横目に奮闘してます😊



松尾尚記

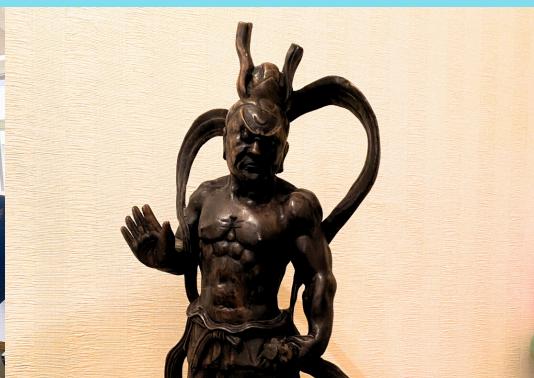
@「若者を中心としたビジネス創出事業」支援

小田原さんの農家レストランでおいしいお餅を堪能！この時期にお餅とは幸せですね～。特に、アオサを入れた肉餅が美味しいかったです！暑さも増してきたので、たくさん食べて夏バテ防止します！

みなさん熱中症にはお気をつけて。水分補給を忘れずに！
地域おこし協力隊より、暑中お見舞い申し上げます。

ゆざまち 十協力隊通信

お水は大切！の8月号



来ちゃいなよ。

ゆざまち

遊佐の魅力を発信するWEBメディア



「来ちゃいなよ。ゆざまち」facebook
@yuzamachicom



「ほほ／日めくり！ゆざ！」Instagram
@himekuri_yuza

発見!
協力隊のお仕事
Vol.4



はやか とよみ
早坂 豊美

愛称:トミー

情報発信・水循環保全啓発担当

出身:山形県新庄市
集落:五日町
趣味:ドライブ、料理
好きな食べ物:カレー
好きなお店:焼き鳥専門店 鈴

私たちが毎日使っている水道水。実はその水には特別な秘密があることを知っていますか?今回の協力隊通信では、「情報発信・水循環保全啓発」担当の2人から、遊佐町の「水のすごさ」をお届けします!きっかけは、4月に稻川まちづくりセンターで実施した「湧水の飲み比べ」。飲み比べに参加いただいたみなさんの、味の違いに驚いた反応が印象的でした。「水っておもしろい」ということを、もっと多くの人に知ってほしい!そんな想いから、今回は協力隊通信そのものを情報発信の活動の場としてみました。いつも何気なく使っている水が、実はとても特別な存在だった——。そんな気づきに出会える今回の特集、ぜひお楽しみください!



しらい しゅんぺい
白井 駿平

愛称:ペいたん

情報発信・水循環保全啓発担当

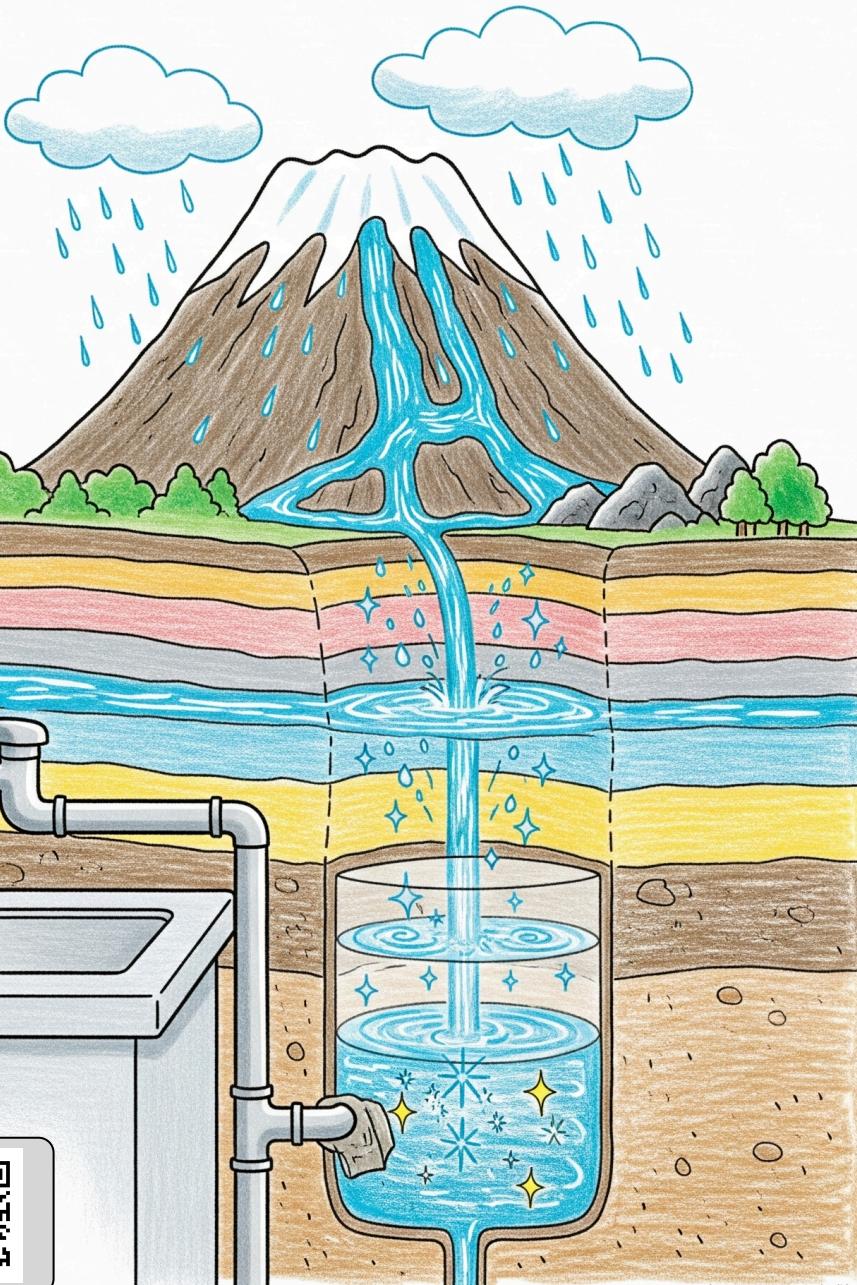
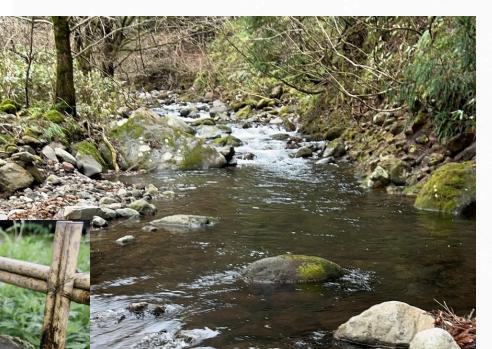
出身:東京都町田市
集落:広野
趣味:歌を歌う
好きな食べ物:鮭
好きなお店:中華そば七郎

ここがスゴイよ
ゆざまちの水



鳥海山が長年かけて育んだ水

鳥海山に降りそそぐ雨や雪がどこへ行くか、ご存知ですか?山肌をすぐに流れ下るのではありません。地中にしみ込んでいき、土や石の層を通過しながらゆっくりと地下深くへと進み、数十年とも言われる長い時間、山の地下で蓄えられています。そう、鳥海山はまさに“天然のダム”。鳥海山の地中には長い年月を経て育まれた豊富な水が蓄えられており、その蓄えられた水が町のあちこちで湧水や井戸水として顔を出しているのです。一年中さも当然のように町内に水が湧き出しているのも鳥海山が水を豊富に蓄えているから。その水は昨日今日生まれたわけではなく、鳥海山が長い年月をかけて育み、蓄え、少しずつ私たちに届けてくれているとっても貴重な水なのです。



ほぼ自然のままの水道水

そして実は、鳥海山がもたらす豊富な地下水と湧水は、私たちが毎日使う水道水の水源にもなっています。多くの自治体では水道の安定供給のためダムの水を水道の水源に利用*していますが、遊佐町の上水道の水は鳥海山の地下水・湧水が水源なのです。

その水源の水質は、水が地中を流れるときに土や石の層が自然のフィルターとなり不純物を取り除くため、とってもきれい!なので、遊佐町の上水道の水は浄水処理がとてもシンプルで、基本的には塩素消毒のみで家庭の水道に届けられています**。県内の大規模な浄水場で使われる、汚れを固める薬品や水の性質(pH)を整えるための調整剤を、遊佐町では使っていません。それは、鳥海山の地下で長い時間をかけて自然にろ過され、そのままでも飲めるほどきれいな水が、遊佐町の上水道の水源だから。私たちが普段飲んでいる水道水は、“ほぼ”自然のままの水なのです。

*県内では24の市町で一部または全ての上水道の水源としてダムの水を利用(広域水道用水供給事業に関する山形県HPおよび独自の電話ヒアリング調査より)している他、東京都では上水道の水源は97%がダムの水。(東京都水道局HPより)

**大橋浄水場で急速ろ過処理を、吹浦第1水源池と升川水源地で紫外線による殺菌を施しています。

※殺菌処理をしていない生水の飲用について、町では安全性を保証しておりません。生水の飲用には十分ご注意ください。



(出展:東京都水道局 <https://www.mizufuru.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/overview/function/>)

お水だって“地産地消”

水道の水源が鳥海山の地下水・湧水ということは・・・?

そう、遊佐町の上水道の水源は遊佐町内にあるんです!これは、水道の仕組みが町の中で完結しているということ。つまり、水道を管理する人も使う人も、同じ遊佐町の中にいるということです。だから、水に関する相談やトラブルがあっても、顔の見える関係の中で素早く対応できることが遊佐町の一つの強み。町内のとある人気ラーメン店の店主の方が教えてくれました。「このラーメンの味が出るのは遊佐の水だから。料理人にとって水は命。水が濁つたりしたらすぐに上水道係に連絡するが、いつもすぐに対応してくれるから助かっている。」水道だって地産地消。遊佐町はそんな町なのです。

アンケートご協力のお願い

いつも、ゆざまち協力隊通信をご覧いただきありがとうございます。
このたび、通信の内容をより良いものにしていくため、通信をご覧いただくみなさんのご意見・ご感想をお寄せいただくアンケート調査を開始しました。
右のQRコードよりぜひご回答をお願いいたします!



(Geminiにより生成)